

GISを用いた保育サービス需給ギャップの地図化：沖縄県那覇市の事例 Mapping the supply-demand gap in childcare services with GIS: A case study in Naha City, Okinawa

若林 芳樹^{1*}, 久木元美琴², 由井義通³
Yoshiki Wakabayashi^{1*}, Mikoto Kukimoto², Yoshimichi Yui³

¹ 首都大学東京, ² 奈良女子大学, ³ 広島大学

¹Tokyo Metropolitan University, ²Nara Women's University, ³Hiroshima University

本研究は、待機児童数が大都市圏外では例外的に多い沖縄県那覇市を対象地域として、保育サービスの需給ギャップを地図にして可視化することを試みたものである。需給ギャップをGISによって地図化するために、認可保育所によるサービス供給量と未就学児の需要量のベクタデータをカーネル密度推定によってラスタデータに変換し、需給密度の差を求めた。得られた需給ギャップの地図は、保育サービスの需要と供給の空間的偏在を示していた。これに認可外保育所の分布を重ね合わせると、公的サービスの空間的隙間は民間サービスによって補われていることが明らかになった。

キーワード: 保育サービス, 需給ギャップ, カーネル密度推定, ラスタ演算, 那覇市

Keywords: childcare services, supply-demand gap, kernel density estimation, raster calculation, Naha City